

No.17



組織マネジメントコース

# 「報・連・相」による職場の活性化

## ～「報・連・相」によるリーダーのコミュニケーション実践術～

職場では「報・連・相」の徹底により、情報を共有化し、目標達成に向けて組織一丸となった取り組みが必要です。一方で、「報・連・相」の不徹底は、職場で起こるミスやトラブルの原因となるとともに、メンバー間の信頼関係づくりやチームとしての能力発揮の妨げとなります。

この研修では、管理者として、組織の能力を最大限に引き出すうえで必要な「報・連・相」の役割を改めて認識するとともに、「報・連・相」を定着させ、活かしていく方法について、演習を交えて学んでいただきます。

### 募集案内

#### 研修期間

10.26水～28金

対象者… 経営幹部、管理者、リーダー

会場… 中小企業大学校人吉校

募集人員… 30名

受講料… 31,000円(税込)

### ここがポイント!

- ✓ 組織活性化のための「報・連・相」の役割と必要性について学んでいただきます。
- ✓ ミスやトラブルを防ぎ、仕事の生産性を高める「報・連・相」の使い方を学んでいただきます。
- ✓ 自社の「報・連・相」をレベルアップするための仕組みづくりを検討していただきます。

月日	時間	科目	内容
平成28年 10/26 (水)	9:15~9:30	開講式・オリエンテーション	
	9:30~12:30	「報・連・相」の役割と進め方	組織における情報共有の必要性を改めて認識し、「報・連・相」が組織や業務にもたらす効果について学んでいただきます。 ・組織における情報共有の必要性 ・コミュニケーションの重要性と方法 ・「報・連・相」の効果 ・「報・連・相」の導入方法
	13:30~17:30		
		受講者交流会	
10/27 (木)	9:30~12:30	管理者に求められる「報・連・相」への対応	管理者として求められる「報・連・相」への対応について、職場での現状を把握したうえで、事例検討や演習を通じて実践力を高めていただきます。 ・管理者の立場と役割 ・管理者として必要な「報・連・相」の意識 ・「報・連・相」の観点で見る問題解決 ・「報・連・相」のマネジメント
	13:30~18:00		
10/28 (金)	9:30~12:30	自社の「報・連・相」の仕組みづくり(演習)	自社における「報・連・相」の進め方 ・自社「報・連・相」の現状確認と問題の抽出 ・「報・連・相」の導入計画作成(演習) ・計画のブラッシュアップと組織への定着のポイント
	13:30~17:00		
	17:00~17:10	終講式(修了証書交付・アンケート記入)	

※実施にあたり内容等が変更になることがあります。

### 講師紹介



有限会社ウェーブ  
経営コンサルタント  
藤田 悠久雄(ふじた ゆくお)

1969年細田貿易(株)東京支店入社、1971年家業(菓子製造販売)に従事し商工会青年部に加入。大型店対策のため一級販売士、中小企業診断士、消費生活アドバイザーの資格を取得。

専門分野は、小売業・サービス業の経営指導、創業支援、販売促進、営業社員、販売員の販売教育。中小企業ベンチャー総合支援センターアドバイザー、広島地域支援センターアドバイザー、広島市産業振興センターアドバイザー、商工会議所、商工会セミナー講師、調理師、製菓衛生師。

### お勧めします!.....

- 自社で「報・連・相」を定着させたい方
- 一体感のあるチームづくりをしたいリーダーの方

### 関連研修のご案内

**No.20** 新市場開拓のための戦略づくり  
平成28年12月8日(木)～9日(金)

**No.25** 部下のほめ方・叱り方とモチベーション管理  
平成29年2月7日(火)～9日(木)



所在地 (住所)		代表者 役職名	
企業名 (又は屋号)		代表者名	
代表番号	TEL (            )	FAX	

### 【事務連絡先】

担当部課		役職		担当者名	
連絡先TEL	※上記と同じ場合は省略可		連絡先FAX	※上記と同じ場合は省略可	
連絡先住所	※上記と同じ場合は省略可		E-mail:		
			メルマガ配信の希望	(    有    ・    無    )	

### 事業概要 ※該当する記号・番号に○印をつけてください。

資本金	万円	従業員数	名	創業	西暦
業種	E 建設業    F 製造業    H 情報通信業    I 運輸業 J 卸売業・小売業    K 金融・保険業    L 不動産業 M 飲食店・宿泊業    Q サービス業    S その他(            )			主な取扱品	
製造業 中分類	9 食料品    10 飲料・たばこ・飼料    11 繊維    12 衣服    13 木材・木製品    14 家具・建具    15 パルプ・紙 16 印刷    17 化学    18 石油製品    19 プラスティック製品    20 ゴム製品    21 革製品    22 窯業・土石製品 23 鉄鋼    24 非鉄金属    25 金属製品    26 一般機械器具    27 電気機械器具    28 情報通信機械器具 29 電子部品・デバイス    30 輸送用機械器具    31 精密機械器具    32 その他				

入寮(校内宿泊)について ●大学校施設(溪佳寮)へは、研修期間の前日から最終日の翌朝までお泊りいただけます。※2,200円/泊(税込・朝食サービス) 満室の際はご容赦ください。

コース 番号	氏名	(役職を記入の上、該当部に○)	(校内宿泊)
緊急連絡先等 TEL【自宅・携帯電話等】			

その他の留意事項